

建設防災 ボランティアニュース 第 89 号

目次

- ・ 総合防災訓練
- ・ 河川愛護月間行事
- ・ 事務所との意見交換会
- ・ 夏休みの勝どきミニツアー
- ・ 新入会員の紹介 他

令和 7 年度総合防災訓練

羽村市と日の出町の二会場で活躍！

8 月 31 日(日)、「令和 7 年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練」が羽村市宮の下運動公園と日の出町民グラウンドの二会場で開催されました。

当日は 37℃近い猛暑の中、羽村会場の道路啓開訓練に 3 名(以下敬省略。伊佐、清水(幸)、岡村)、日の出会場の展示・体験訓練に河川 2 名(東野、舛原)、公園 2 名(小山、丹野)の計 7 名の協会員が参加しました。

以下各班の活動状況を報告します。

〔羽村会場：道路班〕

羽村市の多摩川河川敷に立地する宮の下運動公園では避難救助訓練の一環として西建が道路啓開訓練を実施しました。

我々 3 名は 8 月 26 日のリハーサルにも参加し、がれき等で閉塞した道路の状況を調査し、道路巡回車で到着した工区点検班に被災状況を報告するという役割を担いました。

特筆すべきは清水、岡村両氏の機敏な動きで、がれき・倒木・道路標識等の障害物をものともせず現場に乗り込み、メジャーを当てる迫真の演技?!はまさに「現場経験」で培った熟練の極み！

まだまだ現役に負けずに活躍出来るものと確信しました。



訓練終了後の花井局長の訓示で「警察・消防・自衛隊等に引けを取らないキビキビとした動きであった」とのお褒めの言葉は我々防災ボランティアにも向けられたものと勝手に解釈した次第であります。



〔日の出会場：河川班〕

河川班(東野、舛原)は日の出町会場にて水囊(吸水式土囊)の展示、実演を行った。35℃を超える暑さの中、水を湛えた水槽に多くの来場者がお寄りくださり、手を水に浸けながら数分で水囊が膨らむのを見ておられた。

「土囊は土が必要だがこれなら風呂の残り水でできるね」、「保管にほとんど場所をとらなくてよい」などの感想を頂いた。

8 月最後の日曜日でもあり子供さんも多く、隣接の土砂対策ブース、排水ポンプ車展示などと併せ幅広い世代の方々に興味を持っていただけて良かった。



西建班 東野寛

〔日の出会場：公園班〕

西部公園は西建の向かい側に、災害時における公園の役割などを説明する展示ブースを設けました。

現役の所員とともに私たち2名（小山・丹野）も見学者の勧誘を始めました。しかしあの猛烈な暑さです。

喜寿の小山は耐えられず、早々に日陰に避難しました。ところが、同じく喜寿の丹野さんは最後まで炎天下で勧誘を続け、坂下所長が「丹野さんすごいな」と声を上げたほどでした。見学者に記入していただいたアンケートは100枚に達しました。

西部公園班 小山雅文



〔二会場の総員が合流しての反省会〕

訓練終了後は二会場からの交通結節点である拝島駅近くの某所に三々五々参集し、盛大に反省会を開催しました。



協会メンバー総員7名に公園協会の西園寺さんも飛び入り参加して、猛暑のなかで消費した水分・塩分・カロリー？をたっぷりと補給し、無事お開きとなりました。

西建班、西部公園班のメンバーに加え、応援に来ていた舩原（北南建）さん、清水（五建）さん、岡村（南東建）さんに感謝申し上げます。

西建班リーダー 伊佐賢一

河川愛護月間行事の報告

『環七地下の巨大トンネルを体験』！！

7月5日に河川愛護月間関連行事の一つである「環七地下の巨大トンネルを体験」が開催されました。環状七号線の地下およそ40mに設置されている「地下調節池」を見学する恒例の人気のプログラムで、総勢149名の方々が参加されました。

参加者はまさに老若男女、小さなお子様連れのご家族での参加も多く、幅広い人気ぶりが伺えます。

開催日は「川の日」（7月7日）の前々日、6月から続く猛暑のもと、4班に分かれて、「いざ巨大トンネルへ！」。行程は、施設概要・模型及び監視室操作の説明に続き、グリーンインフラを見たのち、地下トンネルを見学。

地上に戻ってからは、水圧扉や高所作業車体験、ゲーム感覚で行うPCによるバックホウ操作体験、バックホウによるボールすくい、VRヘッドセットを用いた自然災害体験など盛りだくさん。子供も大人も列をつくり「まだか・まだか」の大盛況。

施設概要の動画鑑賞後、見学者からの拍手が起きるなど、改めて施設の重要度を参加者に認識していただくなど、多くの方が大満足のご様子で現場を後にされました。

建設防災ボランティアからは、望月裕さんと私、高瀬照久の2名が参加し、河川事業のパンフレットや参加記念グッズの配布、アンケート記入のお願い、回収などのお手伝いをさせていただきました。



アンケートでは「スタッフの皆さま総動員と思うほどの手厚い案内に驚きました」、「昭和のころ、TV で洪水のニュースを見て大変だと思っていたが、最近、そんなニュースも減り、このような対策のため、激減したのだと改めて感じた」、「まさしく、縁の下の力持ちです。東京都のご苦労・努力を見て、良い体験でした。知り合いにも情報を与えたい」「ふだんは想像もしていなかったところで、人々の安全のために力を尽くしてもらっていることを知って、すごく感謝の念がわいてきた」、「施設の役割の大きさに比較してあまりその存在が知られていないと思いました」、「見学コース、ビデオへの解説、よく織り込まれていて楽しく『学び』がありました。都内の小中学生は、一度は見学に来るべきところです」等々、たくさんの声を聴かせていただきました。



今回のような、施設に直に触れていただく「現場体験会」の重要性、有効性を改めて認識した一日でした。参加者の皆さん。三建の皆さん。お疲れさまでした！また来年も、よろしくお願い致します。
三建班 高瀬照久

今年も**猛暑**、**河川清掃**！

令和7年7月27日、河川愛護月間の行事として、「わくわく川掃除&川あそび」のイベントに、建設防災ボランティア・北北建班として参加しました。

当日は、北北建から細見



所長はじめ柴崎工事第二課長、同課職員、本庁河川部職員の方々、そして北北建班からは、吉原、小川、地引、奥秋の4名が参加しました。

実施内容は、午前10時から概ね1.5時間、黒目川の神山橋～門前大橋までの約700mの両岸高水敷のごみ拾い。気温は既に35度。蒸し風呂の河川敷で胸高の草をかき分けながら、せっせと進みました。今年はポイ捨て的なごみはかなり減り、流れ着いた袋や包みが多くを占めていた感じでした。地域の人たちの意識も高くなってきたんでしょうか。以前より楽な清掃でした。



昼頃には駅前の串揚げ屋で反省会。このために参加した各人は、堂々昼飲みです。毎年酷暑の中で同じような繰り返しですが案外楽しんでます。

北北建班サブリーダー 奥秋聡克

『**野川生きもの観察会**』に参加して

北南建の河川関連イベントには、これまで「野川のちびっこ先生集まれ！！」(地元の小学校高学年生を対象)に参加していたが、諸般の事情から取り止めになり、現在は、北南建が事務局である野川流域連絡会(※)主催による公募参加者を対象とした「野川・生きもの観察会」を年に2回(夏季・冬季)開催している。

今年は8月3日(日)に開催されるとの情報を受け、事務局に断りを入れ当会

員が参加できるかの様子見を兼ね参加した。真



夏の暑さを考慮し、開始時間を早めるなどの工夫に加え、公園内は多くの樹木があり日陰も多く、結果的には活動で気分の悪くなるような参加者はいなかった。

開会あいさつや準備体操後、野川公園の湧水を活用した野川の土手に造った小川

(ほたる川)の補修作業(木杭の打込みや土砂の運搬)、小川と野川に入り網による水中の生きものの採集、普段より水位が低かったものの小川ではカワナや絶滅危惧種である

ホトケドジョウ、野川では清流を好む「オイカワ」を採集するなど、あちこちで子供たちの歓声が。

その後、水槽に移しての専門家による解説、アンケート用紙の回収をもって2時間の観察会は無事終了した。

今回は参加者が例年(30名程)の約1.5倍の46名(うち子供24名)に対して、スタッフは19名(私含め)という体制であった。河川延長で約30mの活動範囲の中、それぞれが分担しながら杭打ち補助、水槽への水運び等の力仕事に加え、遊歩道(管理用通路)を利用する通行者(自転車を含め)や参加者の安全確保を図るなど、十分かつ適切な体制であると思えた。

今後の会員の参加については、会員と相談することになるが、今すぐではなく、当面は北南建と連絡を取り合い、観察会(流連メンバーには高齢の方々も)の動向を注視していきたいと考えている。

(※)流域の住民や市民団体、関係自治体都一体となり、河川に係わる環境や歴史・文化や計画・工事・管理などについて情報や意見交換を行う目的の会、現在13河川で設置

北南建班リーダー 舛原邦明



生きもの採集



生きもの解説

木杭の打ち込み



「川のパネル展」 新宿西口広場

河川愛護月間関連行事の一つである「川のパネル展」が、8月26日から29日までの4日間、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催されました。私は、3日目の午後、舛原さんとともに協力スタッフとして参加いたしましたので、行事全体の内容も含め、ご報告させていただきます。

まず、「フォトコンテスト」についてです。応募された都内の川の写真を、来場者の投票結果と特別審査員による審査を経て、優秀作品に記念品を贈呈するというものです。



私は、来場者を誘導する役割でしたが、素晴らしい作品が多く、皆さん、迷われているとの意見が多く聞かれました。

次に、「模型」についてです。白子川地下調節池やシールドマシン模型、土石流対策模型などが展示されていました。実際に手で触れ

て、動作状況を確認することで、来場者の皆さんは興味深く体験されていました。

また、急傾斜地崩壊対策模型では、井桁型法枠の地中に、安定地盤まで深くアンカーが突き刺さり抑えていることなどに熱心に耳を傾けていました。



土石流災害を熱心に説明する公園協会
西園寺技術支援担当課長



最後に、「パネル展」です。都の河川事業や、平成17年の台風21号による大規模水害の模様、神田川の今昔など、来場者の皆さんは興味深く見られていました。私に対応した高齢者の方で、神田川沿いに長年住まわれている方ですが、幼少のころ、神田川で泳いだ話や、滝があった話など、1時間近く話されていました。

また、日本語が片言の中国籍と思われる御夫人からは、「このような普及活動をするということは、近々、大規模地震が東京に来るのですか？」と問われ面食らってしまいました。丁寧に、河川事業のPRであることを説明しましたが、どこまでご理解いただけたかどうか。



連日、猛暑日でしたが、会場ではスポットクーラーが適宜配置されており、熱中症にならずに済みました。河川部の関係者の皆様、お疲れさまでした。

六建班 後藤謙二

〔川のパネル展・参加者〕

(敬称略)

	11:00～14:00	14:00～17:00
8月26日	吉原信貴、大坪安則	松浦いづみ、高橋義明
8月27日	齋藤俊之、大八木猛	清水幸一、島津哲也
8月28日	岡上樹、長島修一	舛原邦明、後藤謙二
8月29日	鈴木秀一、藤田雅人	小林一浩、小川和雄

「東京の川を考えるシンポジウム 2025」

に参加して

令和7年7月12日(土)猛暑の午後、川を考えるシンポジウムに参加するため久しぶりに都民ホール(都議会議事堂一階)に出かけた。

今年のテーマは「川がもたらす自然の恵みと防災の知恵」ということで、二人の特別講演者で二部構成でした。第一部の講演者は川田一輝(30代)さんという方で、関西中心にラジオDJ、子供向けの絵本作家、作詞作曲、声優や「さかなのおにいさん かわちゃん」をキャラクターとして海や川、生き物の大切さを伝えるイベントにMCとして講演するなど幅広い活動を行っている方でした。



You Tube などでも幼児・子供向けに番組を持っており、沢山のファンがいるようで当日は会場に多くの子供たちと父母たちで賑わっておりました。

「世界一楽しいおさかなクイズショー」と題して、子どもたちに魚の生態などを興味深くなるようにクイズ形式にして質問し、答えた子供に解答賞として何かプレゼントしていました。子供たちはすでに彼の番組を見ているらしく相当勉強をしており、大人でも間誤付くようなクイズにも多くの子供たちが積極的に手を挙げ会場は大いに盛り上がっていました。

ここで一つクイズです。トビウオは捕食者が追ってきたときに海面を飛び上がりますが、何メートル位飛べるでしょうか？

- ① 5メートル～10メートル位
- ② 20メートル～50メートル位
- ③ 100メートル～200メートル位

正解は③です。400メートル飛んだ記録もあるようです。子供たちは難なく回答していました。そんな

こんなで一時間はあっという間に過ぎましたが、私にとっては何と無く物足りない時間でした。

第二部の講演者は赤プルさん(40代女性、旧芸名赤いプルトニウム、常総市ふるさと大使)という方で、浅草漫才協会に所属している夫婦漫才(チャイム)の芸人さんでした。お笑い芸能の活動をしながら防災士や収納整理アドバイザーとして、主婦市民の目線で大人から子供まで楽しく学べる防災講演をしているそうである。



当日の講演内容は「赤プル流防災あるある講座」として題して、「平成27年関東・東北豪雨」で自分が受けた被災体験をもとに現場経験を活かした簡単かつ実践的な在宅避難用の備蓄の提案や被災前に「マイ・タイムライン」として自分の防災行動を時系列に整理しておく重要性を中心に講演していた



だった。お笑い芸人らしく笑いを取りながらの一時間であったが、子どもたちにはおさかなお兄さんの方が受けたようであった。

特別公演が終了後、花井建設局長が閉会挨拶をされ、子ども向けのオリジナルグッズ抽選会と東京の河川PRキャラクター”かわいこちゃん”との撮影会が行



われてシンポジウムは終わりました。私は防災ボランティア協会の仲間が一人もいないことを確認しながら、寂しく八王子に帰宅しました。

南西建班 高橋紀男

R7年度 意見交換会(第1回:歓迎会含)

を実施しました (二建班)

令和7年7月29日、二建班の意見交換会を実施したので報告いたします。当日は、私吉原がメンバーに加わったこともあり、歓迎会を兼ねて、丸の内で開催しました。二建班で活動されている相場会長にも参加頂き、総勢10名で実施しました。

参加者は、それぞれ二建にまつわるエピソードを披露したり、今年度の施設点検や初動対応訓練の予定や内容を情報交換するなど、あっという間に時間が流れていきました。

メンバーの高齢化が進む中で、いかにして局の活動に少しでも貢献できるか、課題を確認しました。



最後に、古川前リーダーから、先日亡くなられた廣木良司さんに関するご報告がありました。突然の訃報に、只々残念であります、「皆さんも、日々くれぐれも体に気を付けてという彼(廣木さん)のメッセージを、闘病する姿から感じた」とのことでした。

この場を借りて、ご冥福をお祈り申し上げます。まだまだ暑い日が続きますので、会員の皆様方には、ますます体調に気を付けて頂きますようお願いいたします。

二建班としても、益々充実した活動を実施できるよう、引き続き励んで参ります。

二建班サブリーダー 吉原信貴

現場見学会を開催しました!!

(北南建班)

コロナ禍やインフルエンザ流行などにより実現できなかった北南建現場見学会が出戸所長・岩佐工事第一課長等のお計らいにより、3月25日(火)にようやく実施されました。

当日は午後2時半前に所長室に集合して、①関戸橋架け替え工事や②東八道路西側部の工事概要説明を受けました。当日の北南建ボランティアの参加者は柿堺さん、内山さん、新川さん、舛原さん、川合さん、池田の6名です。なお、永井さんは3月11日が25日に急遽延期になったので、仕事の都合で参加できませんでした。

最初に多摩市と府中市を結ぶ関戸橋の架け替え工事(下流側橋新設)を見学しました。工事開始から11年目工事となります。この日は晴れていましたが、黄砂がひどく空が霞んでいました。



桁架け作業がだいぶ進捗していて、この日の作業は左岸桁上部の鋼床版(地組みで防護柵の単管をセット)のクレーンでの据え付けでした。

所長のお話しによると桁架けは700tクレーンで施工され、その桁の大きさは所長の背丈をはるかに上回る大きさだったようです。

次の東京八王子線(東八道路)の西側最後の区間(延長約1.3km)では用地買収がほぼ完了していて、現地に立った時には幅の広い道路になるなと感じました。(道路幅員が36~41mなので納得) 現在、電線共同溝の工事が進められており、また、南武線上部の跨線橋部は既に完成し、地元の生活道路として開放されていました。

ただ、跨線橋完成により踏切が無くなったので、地元の人には少し不便をかけているようでした。その対応として線路沿いに階段を設置するそうです。



事務所に戻り、終業時まで懇談したあと近くの居酒屋で、岡田工事第二課長と野田補修課長も加わり、北南建4名・ボランティア6名の意見交換を行い、より一層の懇親を深め合いました。最後に出戸所長より「施工箇所の当初からの経緯をいろいろ聞かせていただき大変有意義な見学会であった」と話されました。もう一つ、私が米田さんからリーダーを引き継いで12年くらいになりましたので、ここで退任し、あとはリーダー舩原さん・サブリーダー永井さんに引き継ぎました。長い間ご協力ありがとうございました。

北南建班 池田繁敏

「勝とき橋ミニツアー」

夏休み特集

今夏の課題は猛暑の中での参加者・説明者の熱中症対策とツアー1万人達成への対応でした。急なキャンセルもありましたが58巡目最終日の8月28日にはツアー20年目にして参加者1万人を達成しました。

事故も無く今日を迎えられたのは皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

夏休み中には毎週多くの子供達が参加してくれました。興味津々で様々な質問も出て説明者にとっても楽しい時間となりました。

参加したお子さんから力作のマンガも頂きました。その他の感想等とともに紹介します。

《7月31日》

〔寄稿〕 目黒区・近藤さん

小学生の子どもの2人と参加させていただき、初めての橋の構造見学に子どもたちも私もとても興奮しました。

実際に使っていた作業室や動く部分も見学させていただいたので、レバーを引いて操作することや、橋の重さを同じ重さの錘で支えていることなど歴史や科学の勉強にもなりました。

帰ってから、さっそく子どもが感想のマンガを描いていたので、提出させていただきます。

今年は道路の白線の見学など、他の見学会の抽選に漏れてしまったのですが、他の見学会もとても興味深いものでしたので、また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。



【目黒区宮前小学校 5年 近藤 心(こころ)さん】

《7月17日》



5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

おもしろかった。橋の構造のこともよく分かった。
他の橋のことも分かった。橋のこともよく分かった。

《7月24日》



5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

勝どき橋についてとても興味を持ちました。
もう1回、11月26日に行きたいです。



(公社記入欄：令和7年7月24日 第2回)

《7月31日》

5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

たのしかった。説明が上手だったのでよく分りました。
また行きたいです。

《8月7日》

5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

アスファルトの質感や、スリッパの感触がよかった。

《8月21日》

5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

今日のツアーでは、運転室の構造やギアによる橋の持ち上げなど、参加者の要望に合ったものを見ることができ、説明も分かりやすく、素晴らしいものとなりました。ありがとうございました。

5. ツアー全般について、ご意見・ご感想など自由にご記入下さい。

はじめて地下に行くのも、ちょっと楽しかった。



《8月28日》

今年度の最終ツアーとなった8月28日、累計見学者数が1万人に達しました。



勝どき橋 見学ツアーが1万人に！

～20年目にして達成、

記念イベントを開催しました～

去る8月28日、遂に勝どき橋橋脚内見学ツアーの見学者が1万人に到達しました。

このツアーは、勝鬨橋の土木・機械・電気に関する高度な技術的工夫が凝らされた開閉の仕組みを多くの方に知っていただくため、平成17年(1995年)5月から開催しています。途中、橋梁の維持補修工事やコロナ禍の影響で中断した時期もありましたが、開始から20年目の達成となります。

当日は好天に恵まれ、且つ暑い一日でしたが、夏休み最後の開催日ということで、午前と午後併せて6組14名のご家族がツアーに参加されました。橋梁工事の関係で9月からのツアー中断直前の達成に、運の良さを感じざるを得ませんでした。

午前と午後のツアーに参加下さった皆さんには、普段の見学に加え、記念イベントへのご協力をいただきました。

佐藤、横井両副会長、ツアー開始当初からご尽力いただいている新井監事らの立ち合いのもと、相場会長から記念品の贈呈を行い、集合写真の撮影を行いました。突然のイベントにも拘わらず、快くご協力下さった見学者の皆様、本当にありがとうございました。



参加者への記念品



特製クオカード



サクマドロップ

このツアーの運営には、主催者である東京都道路整備保全公社さんの支えがなければ今日まで継続はできませんでした。また、道路管理者としての道路管理部さんと第一建設事務所さんのご

理解によってツアーが実現していることも言うまでもありません。

これにツアーガイドとしての当協会の3者が一体となってツアーを運営してまいりました。現在は60余名の協会員がツアーガイドとして活躍していますが、20年間にわたり多くの会員の方々にご尽力いただいたことと思います。改めてお礼申し上げます。

前述の通り、勝鬨橋は9月から来年3月までの予定でメンテナンス工事が施工されるため、その間見学ツアーは中断となり、代替として隅田川著名橋等ツアーが始まります。

ツアーガイドに携わる皆様、これからも宜しくお願いします。

勝どきミニツアー担当理事 岡村浩志

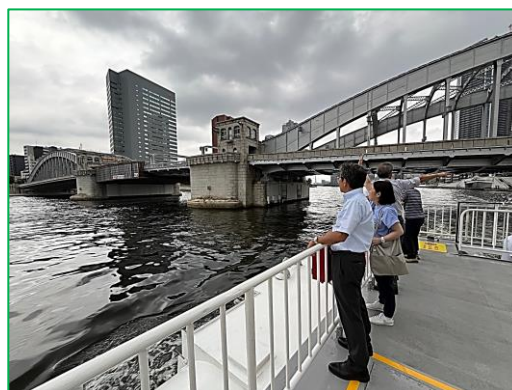
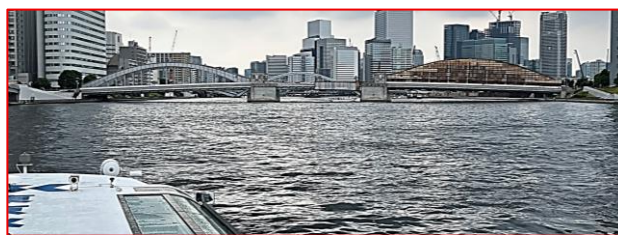
隅田川著名橋等ツアー研修会開催

勝どき橋ミニツアーが工事のため一次中断となることから、代替ツアーとなる「隅田川著名橋ツアー」の研修会が9月4日(木)に台東区民会館で開催されました。

研修会には43名の会員が参加し、林理事よりこれまでの経緯、研修内容等の説明がありました。



その後、二天門発着所から公園協会の水上バスに乗船し、本番のツアーをシュミレーションしながら40分の船旅を楽しみ、竹芝発着所で解散しました。



廣木良司さんを偲んで

7月20日廣木良司さんが73歳で亡くなりました。7月の初旬に電話が通じて近いうちに見舞いに行くことと約束していた矢先の訃報となりました。



あまりにも突然の早すぎる死となってしまう残念でなりません。

廣木さんとは大学の同期で一緒に都庁に就職しました。採用局は異なりましたが、プライベートでは都庁スキー部に入り一緒にスキー合宿に参加し、そこで彼は奥さんと出会ったのです。

都庁退職後はご夫婦の時間を大切にして、クラシックコンサートに出かけていました。私も時々同じコンサートに合流していました。体調を崩される前はオーストリアやオランダにまで出かけて世界一流のクラシック音楽を生で楽しんでいました。

建設防災ボランティアでは二建班で一緒に活動していました。年間を通して初動対応訓練、道路施設点検他積極的に参加していましたので、体調を崩されて参加を控えていたのでしょう。

気さくな性格と誰にでも好かれる可愛さを持ち合わせた廣木さん、もっともっとスキーでもクラシックコンサートでも一緒に遊びたかったです。

二建班 古川俊明

新会員のご紹介

〈佐藤伸一さん〉 南東建班

今回建設防災ボランティア協会に入会させていただきました佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

昭和56年4月に入都、今はなき第二街路整備事務所に配属になり、これも今はなき第七建設事務



所、そして第二建設事務所と主に街路事業を経験させていただきました。

その後、港湾局に異動して平成2年度末に定年退職、2年間東京港埠頭(株)に務め、現在は若築建設

(株)にお世話になっております。

趣味は映画鑑賞とサッカー観戦で、映画は小さな映画館での舞台挨拶を狙って見に行っています。サッカーは地元のスフィード世田谷という、なでしこリーグ所属のチームを応援しています。調布の「味の素スタジアム」の隣にある「AGFフィールド」をホームとしていますので、お近くの方は是非一緒に応援しましょう。

このたび、建設防災ボランティア協会にお誘いいただき、希望が叶って南東建班に加えさせていただきました。少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思っていますので、ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

協会からのお知らせ

① イベント等の開催予定

- | | |
|--------------|-----------|
| ・川を歩こう 旧中川 | 10月4日(土) |
| 石神井川 | 10月18日(土) |
| 多摩川・奥多摩 | 10月18日(土) |
| 隅田川 | 10月25日(土) |
| ・隅田川著名橋ツアー | 10月30日(木) |
| | 11月20日(木) |
| ・勝どきミニツアー研修会 | 11月14日(金) |

・現場見学会 11月27日(木)
(環状七号線地下広域調節池)

※各イベントの詳細は別途お知らせします。

- ② 各班からの活動報告を心よりお待ちしております。また、自己紹介がお済みでない新入会員の皆さまも、ぜひ下記編集担当理事又は西村まで原稿をお送りください。

西村アドレス(iwana-246ra@outlook.com)

- ③ 協会のH.P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板 <http://tokyo-adv2.info/>)には、最新の情報、バックナンバー、建設局報などが載っていますので、積極的にご活用ください。なお、建設局報の閲覧には、パスワード「kyokuhou」の入力が必要です。

編集後記

昔から「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、彼岸を過ぎて猛暑日とは何とか縁が切れそうです。

今年は異常な暑さと少雨に加え、日本各地で豪雨が発生しました。東京でも9月11日に目黒区で時間134ミリの豪雨が発生するなどし、立会川や谷沢川の氾濫や各地で内水氾濫がありました。インフラ整備が進んでいるとはいえ様々な災害と隣り合わせであることを再認識しました。(N)

発行人 相場淳司
発行 東京都建設防災ボランティア協会
〒163-0720 新宿区西新宿 2-7-1
新宿第一生命ビル 20F
(公財)東京都道路整備保全公社内
編集 岡村浩志、佐野正生、地引尚治、
西村行正、林幹生

